

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	都市型ホテル (宿泊担当)	来客数の動き	・インバウンド需要の増加によるところが大きく、単価も上昇傾向である。
	○	一般小売店 [印章] (経営者)	来客数の動き	・年度替わりで受注量が増えた。
	○	一般小売店 [靴] (経営者)	お客様の様子	・展示会やSNSを通じて海外からの問合せが増え、海外展開の可能性を感じている。
	○	百貨店 (広報担当)	来客数の動き	・催事等で、客が混雑を全く気にせず欲しい商品の列に並び購入している様子がうかがえた。
	○	百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・今月、VIP顧客対象のホテル催事を実施した。雨で来客数は今一つであったが、金額を気にせず高額商品を購入する客もおり、客単価が大幅に上昇し、売上が増加した。
	○	百貨店 (外商担当)	単価の動き	・今月は、新規で実施した催しが好調で、特に美術品や金製品等の高額商品が堅調に推移したため、前年実績をクリアできそうである。
	○	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数が前年比102%と増えている。入学や就職など移動の時期で新しい客が増えている。
	○	スーパー (販売担当)	来客数の動き	・買上点数と来客数が微増となっている。
	○	コンビニ (副地域ブロック長)	お客様の様子	・観光客やイベント客だけでなく、インバウンドの効果もあり、コロナ禍ではみられなかった時間帯の来客数が増えている。時間帯別では昼間の来客数が増加しており、商品別では飲料や軽食の販売数が特に増えている。
	○	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・先日、都会から出張で訪れた客が50万円くらいの商品を購入した。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・外国人観光客の勢いがすごい。自分の店もそうだが、電車やバスも乗客は日本人より外国人の方が多いと聞く。
	○	一般レストラン (店長)	単価の動き	・来客数は微増であるが、インバウンドを中心に客単価が上昇傾向にあり、前年比では約10%の上昇となっている。
	○	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・以前は、個人旅行客ばかりだったが、団体旅行客も増加しており、景気は上向いているように感じる。
	○	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・新年度を迎え、インバウンドの桜ツアーが新型コロナウイルス感染症発生以前まで回復した。また、国内プレジャーユースも堅調な動きをしている。ただし、ビジネス需要は低調である。
	○	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・3か月前は冬で、春と比べると、旅行客は20%ほど少なかった。春はインバウンド客が多くなり、稼働が上がる傾向にあるため、季節要因も加味すると、やや良くなっている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・今後は働き方改革で、就業時間が短くなり、売上が減少し、給料が下がる。
	○	通信会社 (工事担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和されたため、景気はやや良くなっている。
	○	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・天候に左右される施設のため、週末の天候いかんで来客数が変わるが、予約などの状況から判断すると、景気は良くなっているとみられる。
	○	設計事務所	お客様の様子	・今後の発注についての相談が前月よりも更に増えた。
	□	商店街 (代表者)	単価の動き	・メーカーからの値上げ告知が多くなり、そのまま販売価格上昇となっているため、客の買い控えが増え、高額商品の動きが極端に悪くなった。
□	商店街 (理事)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたが、物価の上昇で、客に生活防衛本能が働き、購入につながらない。	
□	商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が終息し、景気が上向いている。	

□	一般小売店 [食品]	来客数の動き	・来客数は3か月前と変わらず、前年を下回っているが、客単価の上昇により、売上は前年比微増となっている。
□	一般小売店 [茶] (経営者)	販売量の動き	・売上をみると、国内は前年より悪く、輸出は前年より少し良くなっており、全体では、前年割れとなっている。
□	一般小売店 [洋裁附属品] (経営者)	販売量の動き	・気候が良くなり、外出者も増えている。土日は多くの方が買物に出掛けているが、売上は変わらない。
□	百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・原材料価格の高騰などから商品価格が上昇しているため、来客数や販売点数が減少傾向にある。客単価の上昇により、来客数や販売点数の減少を何とかカバーしている状況であり、今後も同様の推移をするものと推察する。
□	百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・来客数は増えているが、販売量は増えていない。一部の外商の客は購入しているが、ボリュームゾーンの販売量がミセス、ヤング共に減っている。気温の乱高下もあり、春物が動いていない。
□	百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・500万円以上の現代アートや200万円以上のブランドの時計などが売れ、今月は良かったが、円安でブランド品が値上げされる可能性があるため、来月は安心できない。
□	スーパー (店長)	販売量の動き	・食品中心の値上げが加速しており、生活防衛のため、客の日々の買上点数が伸長していない状況である。しかし、極端に下降はしておらず、変わっていないというのが現状である。賃金改定はあったものの、商品の値上げに追いついていない状態である。低単価商品の動きは良いが、必要な量だけの購入という客が多く、買上点数が伸長しないことが売上に大きな影響を与えている。
□	スーパー (店長)	販売量の動き	・販売量の動きが前月より鈍化している。
□	スーパー (業務開発担当)	販売量の動き	・販売平均単価は2.3ポイント上がっているが、販売数量が3.5ポイント落ちている。来客数も3ポイントほど落ちており、非常に厳しい。
□	スーパー (販売担当)	来客数の動き	・例年ならゴールデンウィークや母の日商戦に向けて活気付いてくる時期だが、来客数が前年比93%で推移しており、余り変化がみられない。
□	コンビニ (支店長)	来客数の動き	・他県と比較しインバウンドの効果を感じない。
□	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・景気の良い話を周りから聞かない。
□	衣料品専門店 (代表)	販売量の動き	・物価高に加えて、4月から国民年金保険料や再エネ賦課金の上昇など実質的な増税により、客の財布のひもが固くなっていくとみられる。
□	家電量販店 (店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症は終息したが、ほとんどの商品を値上げしているため、景気は元に戻っていない。
□	家電量販店 (企画担当)	単価の動き	・季節商材の動きが余り良くないため、売上も良くない。
□	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・4月の販売台数は前年比85%となっている。
□	乗用車販売店 (リース担当)	来客数の動き	・新車購入、任意保険、点検などの来客数が以前より少なくなっている。
□	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・来客数、客単価共に今までと変わっている様子はみられない。
□	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・暖冬で冬商品は売れなかったが、全体としての売上はそこまで下がってはいない。
□	その他専門店 [和菓子] (経営者)	単価の動き	・来客数は増加傾向にあるが、客単価が低くなっている。
□	その他専門店 [時計] (経営者)	単価の動き	・メンテナンス等が目的の来店により、来客数は増加したが、売上は増加しなかった。

□	その他専門店 [土産物] (経営者)	お客様の様子	・3月から4月は通常繁忙期であるが、外国人観光客の姿がみられるようになったものの、観光バスの乗り入れが少なかった。家族単位の客がほとんどで、団体客は少ないままである。
□	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	お客様の様子	・暖かくなり、外出の機会が増えてきたのか、週末などは客の動きが活発になっている。しかし、平日の来客数の鈍化もみられ、全体的には変わっていないと判断している。客がついで買いなど余分な買物をしない傾向は続いており、景気が大幅に良くなっているようには感じない。
□	高級レストラン (事業戦略担当)	来客数の動き	・外国人の比率が高まっている。
□	観光型ホテル (副支配人)	お客様の様子	・食材や光熱費等の価格が上がっており、4月より宿泊料金を引き上げたが、そのことで特に予約が少なくなっているはいない。
□	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・旅行業・バス・タクシー管理業があり、4月からのドライバーの管理時間問題で現在大変苦勞している。
□	旅行代理店 (支店長)	販売量の動き	・円安と物価高の影響が大きく、海外旅行が引き続き低調である。国内旅行についても、ゴールデンウィークもあり需要増加の時期とはなるが、物価高や人件費高騰もあり、前年度並みに推移しており、良くなっているとは判断しにくい状況である。
□	タクシー会社 (営業所長)	来客数の動き	・旅客運送収入について、インバウンド需要のため観光などの業務は比較的好調であるが、一般タクシーについてはやや下降気味である。特に4月に入り、夜間の需要がやや落ち込んでいる。上得意の注文も前年同期と比較し、減少傾向にある。しかし、タクシー乗務員の数が増加傾向にあり、食い合いが生じている可能性もあるため、単に需要の減少が原因ではない可能性もある。
□	放送通信サービス (総務経理担当)	お客様の様子	・利用料の回収率がほぼ横ばいである。
□	通信会社 (企画担当)	お客様の様子	・新年度を迎えたタイミングであるが、新サービスやサービス更新に対する関心度が高まっておらず、幾分低い。
□	ゴルフ場 (営業担当)	お客様の様子	・これから繁忙期となるが、予約状況は新型コロナウイルス感染症発生前と変わらないため、順調に推移しているとみられる。
□	競艇場 (企画営業担当)	販売量の動き	・一般レースの1日平均の売上がほぼ横ばいである。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・コロナ禍が明けて以降、物価の上昇などから、新築住宅の引き合いが低迷した状況が続いている。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・来客数や客からの問合せが鈍い状態がしばらく続きそうである。また、客の資金の伸びがなく、行動が慎重になりそうである。
□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・前年の住宅着工戸数の落ち込みなどが報じられたが、客の動きは変わらず、一定数の顧客は獲得できている。
□	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・資材が高騰し、土地仕入れも困難になっている。
▲	商店街 (代表者)	単価の動き	・最近はやい商品があっても更に安くなることを期待し、結局購入しないという客が増えている。
▲	百貨店 (広報担当)	それ以外	・周囲で円安の影響を心配する声をよく聞く。スーパーの食材も値上がりしていて、客が消費を控える傾向にある。
▲	百貨店 (売場担当)	お客様の様子	・人流が活発になり、客の金の使い道が分散している。ゴールデンウィーク前という時節柄、客の意向がモノ消費よりコト消費に向かっており、物販としては厳しい状況である。
▲	スーパー (総務担当)	販売量の動き	・3か月前も来客数や売上が悪かったが、なお一層悪化している。

	▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・いまだ1品単価は前年を上回っており、来客数も前年に近づいてきているが、1人当たり買上点数が前年を下回る状況が続いている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・電気料金の値上げや物価上昇もあり、販売量は減っている。来客数は多くなったとみているが、商品が売れているわけではない。
	▲	家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・来客数がなかなか増加しない。
	▲	乗用車販売店（業務担当）	お客様の様子	・様々な商品の物価上昇により買い控えとなっている。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・物価高の影響なのか、新車より中古車など低価格の車両の需要の方が高く、店舗への来客数も減少している。
	▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・週末の子供連れファミリー層の利用が減少しているが、金曜日は新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がなくなったこともあり、少人数での飲酒を伴う予約宴会の利用が増加している。金曜日を除く午後9時以降の利用客は前年の70%程度にとどまっている。
	▲	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が発生して以降、人が週末にしか外出しなくなっている。
	▲	その他飲食〔喫茶店〕	お客様の様子	・景気の現状を判断するのは難しい。
	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・70代以上の固定電話の解約が増えており、防犯面が理由とも考えられるが、物価高騰の折、家計の限度を超えつつあるとも考えられる。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・あらゆる物の価格が上昇しているため、客が出費を控え、高いメニューを敬遠し、安いメニューに変更している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比べると、売上が10ポイント、来客数が8ポイント程度減少している。4月に入り、来客数の減少が激しくなっており、前年と比べ、3ポイント近く減少している。売上全体に占めるたばこの構成比が非常に高いが、客が値段の高いたばこでなく、安いたばこを購入するようになったため、客単価がかなり減少している。
	×	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・冷蔵庫、洗濯機、エアコン、パソコンなど大型家電の販売量が減少している。今後の物価上昇を考えても、更なる家電の販売量低下が見込まれる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前年からの度重なる値上げで、消費が落ち込んでいる。
	×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客は値段の安いものに決める傾向がある。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症に引き下げられ、人々の日常生活が元に戻ってきたが、物価の上昇の影響もあり、厳しい状況が続いている。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として繁忙状態が続いている。
	○	繊維工業（財務担当）	取引先の様子	・国内消費が活発になって、受注も多くなっている。
	○	輸送業	受注価格や販売価格の動き	・受注が増えた。
	○	輸送業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・顧客からの受注が全体的に増えている。
	○	金融業（経済産業調査担当）	それ以外	・春闘の高水準な賃上げ速報等を受けて、消費マインドが上向きつつある。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安の影響で、海外からの資材が高騰し、景気は横ばいである。
	□	化学工業（総務担当）	競争相手の様子	・競合他社の生産体制が変わり、今後の市場動向を注視している。

	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大口注文の納期が先送りとなったこともあり、生産水準は落ち込んだ状況が続いている。例年ゴールデンウィーク対応で生産の先取りがあるが、今年はその波も小さい。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・足元の動きは依然として変わらず、横ばいが続いている。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注動向に特段の変化がみられない。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料分野での素材受注量に大きな変化はみられない。
	□	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・定時工数能力以上の受注量があり、この状況は過去3か月間変わっていない。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・賃上げの動きはあるが、物価の上昇、税や社会保険料の負担増もあるため、景気が大きく好転したり、下降したりすることはない。
	□	建設業（経営者）	取引先の様子	・客がより慎重に物事を進めているため、契約までの時間がこれまでより長く感じる。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上と受注が順調に推移すると見込んでいる。工期の変動はあるだろうが、問題はないようである。
	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・景気に関する大きなプラス要素がなく、各取引先にも目立った動きはないため、状況は大きく変わらない。
	□	通信業（企画担当）	取引先の様子	・データセンター、クラウドやICT関連機器の引き合いが3か月前から余り変化がない。客も計画的に動いており、受注量なども好調に推移している。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告の問合せがあるが、なかでも製造業のリクルート関係のものが多く印象である。景気が上昇しているというより、人材不足のため広告宣伝で募集をする企業が増えている。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は確保できているが、サービス業の人手不足により、受注機会ロスも発生している。
	▲	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・量販店や飲食店からの注文数が減っており、どこも販売等に苦戦している様子である。
	▲	食料品製造業（経営者）	競争相手の様子	・商品の値上げ後、物量が大幅に減少し、厳しい4月になっている。また、人件費や他の経費の増大で、資金繰りが計画どおり進んでいない。消費者も敏感で、価格適及をすると、物量が増加するが、定価では大幅に減少する。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安や物価高の影響によりコストが上がっているものの、全てを販売価格へ転嫁することができないため、自社で吸収する状況が続いている。
	▲	金融業（支店長）	取引先の様子	・大手化学メーカー等の大型プラント設備の定修受注が減少傾向にあり、受注高の減少がみられることから、景気はやや悪くなっていると判断する。
	▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数が9%減少、成約件数も3%減少と落ち込んでいる。
	×	*	*	*
雇用関連	◎	—	—	—
(中国)	○	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・円安、物価高騰の影響で車両販売や住宅受注は低迷しているが、ローカル企業でも賃上げが進んでおり、百貨店、スーパー、ドラッグストア等の売上は回復している。雇用状況も待遇改善が進み、引き続き企業は意欲的である。
	○	民間職業紹介機関 (職員)	採用者数の動き	・急を要す募集以外にも従業員の高齢化が進む企業においては、今後を見据え、いい人材がいれば紹介してほしいとの声が挙がるようになっており、その数も増加している。
	○	民間職業紹介機関 (人材紹介・派遣担当)	求職者数の動き	・職業紹介事業において、相談者数が前月比110%となっている。また、第2新卒等の動きが活発化している。
	○	学校 [短期大学] (進路指導担当)	求人数の動き	・様々な業界からの新卒求人数が順調に増加している。

□	人材派遣会社 (事業部長)	求人数の動き	・サービス業からの受注は好調に推移しているものの、自動車や半導体関連企業からの受注は減少している。
□	人材派遣会社 (経営企画担当)	求職者数の動き	・派遣スタッフの稼働数に大幅な伸びはないが、終了数も減っているため、結果として稼働数が純増となっている。
□	求人情報誌製作 会社 (広告担 当)	雇用形態の様子	・相変わらず良い状態が続いている。採用市場は新卒も中途も活況だが、いずれも求人数に対し、母集団が少なく採用できていない、又は求人数に満たない企業が多く見受けられる。
▲	人材派遣会社 (副支店長)	求職者数の動き	・4月から勤務を開始した人が多く、今月は求職者の動きが落ち着いている。
×	—	—	—